

基本目標Ⅱ 男女が共に参画する社会づくり

体系一覧(第2次小城市男女共同参画プラン) ～男女がともに認めあい、支えあい、希望あふれる小城市をめざして～							
施策の方向	基本事業	事業	担当課	現状値	①実績値	②平成29年度実績 (事業の内容・取り組み状況)	目標値
				27年度	29年度		33年度
(1) 家庭や地域における男女共同参画の推進							
① 家庭における男女共同参画の促進							
	12	夫婦の家事・育児協力について考えるきっかけとなるよう、パパ・ママ教室を実施する。 【数値目標】パパ・ママ教室の男性参加者数	健康増進課	42人	40人	・父親が育児に積極的に参加されるよう、赤ちゃんだっこ体験やビデオ学習を行っている。年3回開催、40組84人参加。	60人
	13	父親の育児参加を促進するため、子育てハンドブックや父子手帳を配布する。	社会福祉課	—	○	・相談や問い合わせのあった際の説明時に、子育てガイドブックを使用するとともに配布している。	○
			健康増進課		○	・父子手帳をパパ・ママ教室に参加した父親を対象に配布した。42冊。 ・子育てガイドブックを出生届出時に必ず配布している。	
② 地域における男女共同参画の促進							
	14	男女がともに自治会活動・コミュニティ活動へ参画することを促進するための意識啓発を行う。	企画政策課	—	×	未実施	○
	15	男女を問わず、互助として地域住民による高齢者の生活支援の体制づくりを進める。	高齢障がい支援課	—	○	・平成28年度から開始した生活支援整備事業で、地域の困りごとを解決しようと男女を問わず地域住民と一緒に支援方法等を考えていく「介護予防とまちづくり勉強会」を市全体で3回、4町毎で2回ずつ計8回開催した。さらに継続するため、各町ごとの勉強会を第2層協議体として発足した。	○
③ 地域防災における男女共同参画の推進							
	16	防災会議への女性参画を推進し、防災計画に女性の意見を反映させる。	防災対策課	—	○	・平成29年度小城市地域防災計画の修正について議論を行った。女性委員からの意見もあった。	○
	17	女性消防団員の加入の促進や、男女参画による自主防災組織の運営を支援する。 【数値目標】市消防団員における女性消防団員の割合	防災対策課	1.6%	1.4%	・女性消防団員等の活動を掲載した消防団情報誌「あおうみ」を2回発行し、消防団の理解促進・イメージアップを図った。	2.5%
	18	男女共同参画の視点で、災害に対する事前の備え、避難所運営を実施する。	防災対策課	—	○	・地区防災訓練において、女性消防団員が中心になって炊き出し訓練を行った。	○
(2) 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進							
① 女性人材の育成と活用							
	19	あらゆる分野で女性参画を促進するため、リーダー育成を行う。 【数値目標】女性人材バンクの登録者数	企画政策課	4人	2人	・女性人材バンク登録者への各種講座、研修会の案内。 ・女性人材バンクへの登録推進記事を市HP、市報2月号に掲載。 ・女性人材バンクからの審議会等への新規登用 1人	8人
	20	審議会等の政策・方針決定過程への女性の登用を推進する。 【数値目標】女性委員のいない審議会等の数	企画政策課 (関係各課)	8	7	・男女共同参画推進本部、審議会等への女性登用率調査を通じて関係各課へ女性登用を依頼。 平成29年度末現在、審議会等委員への女性の登用率は30.2%。 (平成28年度末30.7%、0.5%減)	4